

# 焼き板

## ①準備物と貸出セット

・軍手 } 各自で用意。  
・新聞紙 }

<鉄缶セット>と  
<道具セット>を  
各班に1つずつ  
貸し出し。

活動が終わったら  
数をそろえて返却。

<鉄缶セット>  
鉄缶  
細薪  
端材



<道具セット>

不燃布 ...10枚    アルミの箱  
火ばさみ...10本    ボンド...1つ  
たわし ...10個    はさみ...1つ



## ②着火の準備

～セットする～  
○鉄缶の口を坂の上側に  
向けて設置。  
・新聞ボール ... 4～5個くらい  
・細薪 ... 全体の3分の2  
※端材はここではまだ入れない。

①新聞ボールを鉄缶に入れ、  
その上から細薪を全体的に  
組み木にして置く。  
②火ばさみ・板・不燃布の3点を準  
備し、鉄缶の下の口から新聞紙に  
マッチで着火する。



新聞ボールと細薪(2/3)を入れる。  
★残りの細薪(1/3)は取っておく。

板を焼く

## ③燃焼

細薪が勢いよく燃えだし  
たら一気に焼き始める。

炎にしっかり板をあて、  
板を燃焼させる。

注)火力が弱まらないように残り  
の細薪や、端材を注ぎ足していく。



風向きに気を付けて  
鉄缶を囲む

## ④消火

火が燃え移ったら、  
火ばさみを上下に  
細かく振って  
消火する。

注)横に振ると板が火  
ばさみをすり抜け、周  
囲に飛んでいくおそれ  
がある。



## ⑤鎮火

煙が出ている  
箇所を不燃布で  
しっかりと押さえ、  
鎮火させる。



## ⑥焼き具合を調節

板の全体がくまなく  
真っ黒になるまで、  
燃焼→消火→鎮火  
をくり返す。

○火ばさみを小まめに持ち替えて、  
焼きむらができないようにする。  
○角は燃焼が進みやすいので、焼き加減や  
炎をあてる位置を調節する。(特に動物型)



## ⑦けずる

板の目(横)に沿って  
たわしでこすり、  
表面のススをしっかりと  
けずり落とす。

注)板の目に沿わずに  
こすると、縦にキズが  
ついてしまう。



けずる作業は必ずしゃがんで行う

## ⑧板の完成

軍手で軽く  
こすってススが  
つかなければ  
けずり作業完了。

仕上げに布で  
表面を拭く。



・木目がきれいに出る  
・キラキラ光沢が出る

## ⑨つける

(1)ヒートン  
ひものため具...2個

(2)目玉  
イルカ・イノシシ...1個  
ミズク...2個

(3)ひも...1本



目玉の裏に薄くボンドを塗り、 そっと圧着する

# 焼き板

## ⑩塗る

カラーテックスの先端を1ミリほど切り、細い線でデザインを描く。



※作業の際には新聞紙を敷く

手や服、作業台につくと取れなくなるおそれあり。

※一気に中身を出したり、独占して色を使い切ってしまうように、しぼり出しの調節をしながら使う。



カラーテックスはペンキの一種!

## ⑫完成

カラーテックスは湿度や、塗り具合によって完全に乾かない場合があるため持ち帰る際は十分注意する。

注) 宿泊部屋には持ち込まず 宿舎の玄関等に新聞紙を敷き、十分に乾かす。



## ⑪片づけと返却

### 鉄缶セット

○中の灰を灰捨て場へ捨て、口の方を表にして返却。

### 道具セット

○道具の数を揃え、クラフト室前で、職員からの点検を受ける。



返却の際は  
この状態で!!

○不燃布の折り目、火ばさみの上下、たわしをきちんとそろえて返却する。

